

主な内容

*12月定例会

本会議の質問……………2・3面
主な審議の結果……………3面
常任委員会委員長報告要旨……………4面

*委員会活動

常任委員会の動き……………4面

*その他の記事

フィリピン・ベンゲット州
を記念訪問……………3面

*お知らせ

2月定例会開催予定……………3面
など

こうち 県議会 だより

第68号

平成28年2月14日発行

こうち県議会だよりは、
定例会(2月・6月・9月・12月)
に合わせて年4回発行



編集・発行
高知県議会

〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20
TEL 088-823-9536 / FAX 088-872-8411
E-mail 210101@ken.pref.kochi.lg.jp
http://gikai.pref.kochi.lg.jp/



海洋堂ホビー館四万十(四万十町)



維新の門(梶原町)



四国カルスト(津野町)



横浪半島(須崎市)



久礼大正市場(中土佐町)

「2016奥四万十博」は、平成28年4月10日(日)から12月25日(日)までの期間、高知県の高幡広域5市町で開催する旅の誘客キャンペーンです。

12月定例会の概要

会期 12月10日～25日(16日間)

●開会日(12月10日)

●これからの県政運営に当たって ～知事提案説明～

尾崎知事は3期目の最初の定例会となる今議会で、「これまでの五つの基本政策と二つの横断的な政策について、その方向性を維持した上でさらなるバージョンアップを図り、県勢浮揚の実現に向けて実効性の高い施策をスピード感を持って展開していくよう努めていく。県民の宿願である県勢浮揚を成し遂げることができるよう、知事を志して以来の基本の基本となる『対話と実行』の姿勢を一層徹底し、自戒の念を常に忘れず、全力でこれからの4年間の県政運営に当たっていく。」と述べました。

次に、12月補正予算については「五つの基本政策の着実な推進などのため、総額53億6千万円余りの歳入歳出予算の補正並びに総額61億6千万円余りの債務負担行為の追加及び補正を含む一般会計補正予算案を提出している。」と述べ、続いて、経済の活性化や日本一の健康長寿県づくりなど県の主要な施策を説明し、最後に今定例会に提出した31議案について説明しました。

●閉会中における常任委員会審査報告

商工農林水産委員会の弘田兼一委員長から、ルネサスエレクトロニクス株式会社が、同社子会社の高知工場について今後2年から3年をめどに工場閉鎖を伴う集約の方針を公表したことについて、審査した内容等の報告がありました。

●決算審査報告 ～決算特別委員会～

決算特別委員会の土森正典委員長が、審査結果を報告し、採決の結果、未処分利益剰余金の処分に関する議案2件を可決し、決算議案22件を認定しました。

●本会議質問(12月15日～17日)

●知事の政治姿勢などについて論議

8名の議員が、知事の政治姿勢や、ルネサス高知工場の集約などについて質問を行いました。

●常任委員会審査(12月18日～22日)

審査の結果、付託された議案31件を可決・承認しました。また、請願5件を不採択としました。

●閉会日(12月25日)

●故川井議員に対する黙とう・追悼の辞

審議に先立ち、12月17日に逝去された故川井喜久博議員に対し、全員で黙とうし、哀悼の意を表しました。

続いて、議員を代表して、中内桂郎議員、土森正典議員が追悼の言葉をささげました。

●一般会計補正予算などを可決

知事提出議案31件については原案どおり可決・承認し、請願5件については不採択としました。

次に、知事から追加提出された岩城孝章副知事の副知事選任同意議案など人事議案2件に同意しました。

議員から提出された議案については、意見書議案8件のうち5件を可決、3件を否決しました。

また、任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、選挙管理委員4名及び同補充員4名を選出し、その後行われた高知県競馬組合議会議員の補欠選挙では、弘田兼一議員を選出しました。



西内 健 (自由民主党)

小学校での論語の素読

問 個人の内的規範を身に付けられる論語の素読の時間を県内小学校の低学年段階に設けることを提案する。

答 教育長 国語の学習にとどまらず、県教育委員会で作成したハンドブック「高知の道徳」に論語を採り上げ、貴重な教材としている。学校によっては、論語を学級全員で音読するところもあるなど、論語を教材とした学習が各小学校で行われている。

さらに、児童生徒の発達段階や学習の目的を勘案しつつ、学習教材としての価値を捉えて、効果的に活用していくことが重要と考えており、指導主事等による学校訪問を通し

12月定例会本会議の質問

質問者(質問順)

十二月十五日

西内 健

高橋 徹

中根 佐知

十二月十六日

野町 雅樹

今城 誠司

石井 孝

十二月十七日

明神 健夫

土森 正典



ハンドブック「高知の道徳」

地域での保健師の活動

問 過疎・高齢化が進み、地域の見守りの力が弱くなっている。指摘される中、保健師が、今後地域でどのように活動していこうとするのか聞く。

答 健康政策部長 住民に寄り添いながら地域全体を見て活動するという理念に基づき、高知県保健師人材育成ガイドラインを本年3月に改定し、保健師の人材育成に取り組んでいるところだ。地域ニーズを的確に把握し、保健師が地域を「みてつない

で・動かす」活動をしていけるよう、市町村との人事交流をはじめ、ステージや分野別の研修などを充実していく。



高橋 徹 (県民の会)

国道33号の道路整備

問 高知市旭町一丁目から鏡川橋に至る1.5キロメートルの区間の進捗状況について聞く。

答 土木部長 この区間においては、用地境界の不確定な箇所が多くあることが事業化に向けた最大の課題であると認識している。

このため、国、県、市の三者で協議を重ね、整備手法や事業化へ向けた取組内容などについて検討してきた。その結果、高知市が境界の確定など、事業化の前提となる環境整備を行うことが確認できたことから、今後はこれらの市の取組を踏まえ、連携して国に要望していく。

鏡ダムの選択取水

問 ダム下流域における濁水の軽減、アユ冷水病と成育への影響については、選択取水をすることで大きなメリットが生まれると思うがどうか。

答 土木部長 平常時の鏡ダムからの放流水の水温は、過去の調査結果によると、貯水池へ流入する河川の水温とほぼ同じで、自然に近いものであると考えている。

一方、4月から6月の間の貯水池表層の水温は、取水口付近の水温より5度程度高く、また、濁度は10度程度低くなる傾向があるため、この時期の選択取水が、アユの成

育等にとどのような効果があるのかなど、今後、発電用の取水口を管理する四国電力をはじめとする利水関係者とも協議しながら調査検討していく。

「選択取水」 ダム湖からの取水時にその高さを変え、深さにより性質の異なる水を目的に応じて取ること。



中根 佐知 (日本共産党)

児童養護施設の職員配置

問 退所者の自立に向けた専門的な援助、指導を行える人的配置ができる支援が求められていると思うがどうか。

答 地域福祉部長 入所している子どもたちの進路の問題や施設退所後の生活に関する相談などについては、施設の職員のきめ細かな支援の手が行き届きにくい状況がある。

このため、進学や就職、さらには退所後の相談支援などを専門に担当する職員を配置することが必要と考え、施設への具体的な支援の在り方などについての検討を進めているところだ。

産後の配食サービス

問 産後ケア事業の一つとして、市町村任せではなく、県が主導で、配食サービスの制度を作ってはどうか。

答 健康政策部長 産前産後ケアは、出産後の休息、育児の支援や母親の孤立化を防ぐために、非常に重要であると考えており、取組を進めてきた。今年度は、母子保健事業の実施主体である市町村がニーズ調査を行った上で、限られた資源を

活用して、地域の実情と母親のニーズに応じたサービスの具体化が実践できるよう、県がアドバイザーを招へいし、福祉保健所圏域ごとに1か所ずつ、産前産後ケアの体制作りの取組を市町村と協働で進めている。



野町 雅樹 (新風・くろしおの会)

四国8の字ネットワークのミッシングリンク解消

問 四国8の字ネットワークの県東部におけるミッシングリンク解消についての思いと今後の取組を聞く。

答 知事 高知東部自動車道の高知南インターチェンジからなんこく南インターチェンジ間などが開通するなど、一歩ずつ着実に前進していると実感している。しかしながら、本県の整備率は依然として四国最下位で、完成までには段階を踏んで進めていく必要がある。

このため、開通による具体的な整備効果を示しながら、ミッシングリンクを抱える他県の知事とも連携して、整備促進に全力で取り組んでいきたい。

東部地域への看護学校の誘致

問 東部地域の状況や安芸郡医師会の実施したアンケート調査結果などを踏まえ、看護学校の誘致に対する県の支援策を聞く。

答 健康政策部長 アンケート調査の結果で、高校生に一定数の看護学校への進学希望者がいることが分かったが、運営体制や資金面の問題から、

医師会による看護学校の設立を断念したと聞いている。今後、改めて関係者で設置に向けた検討がなされることとなれば、学生の確保、資金面での見直しなどについて再度話を伺いながら助言や情報提供などを行い、要件が整えば、施設整備や設置後の運営費への補助など必要な支援を行うていきたい。



今城 誠司 (自由民主党)

南海トラフ地震対策における四国の広域道路開設計画

問 四国4県の県境をまたぐルートについては各道路管理者が連携して開計を行う必要があるが、現在までどのような取組がされているのか。

答 土木部長 地震発生後、県外からの応援部隊や物資の受け入れ、重症患者の広域医療搬送のために広域的な幹線道路ネットワークの早期の通行確保が重要になる。

本年2月に四国道路開等協議会が設立され、地震発生直後に優先して開計すべき幹線道路や関係機関との連絡体制などを定めた四国広域道路開計計画の策定に取り組みしており、高知県道開計計画との整合を図りながら、年度内をめどに取りまとめる予定だ。

中村・宿毛線への取組

問 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線の今後の方向性と、沿線自治体と協力して今後どのように取り組んでいくのか聞く。

答 中山間対策運輸担当理事 中村・宿毛線は、利用者がピーク時の半分にまで減少するなど、長らく厳しい経営状況が続いており、これまで県と関係市町村で経営助成を行ってきた。同線を将来にわたって維持していくためには、会社の自助努力はもちろん、地域としても官民を挙げてしっかりと、もり立てる必要があると考えている。関係市町村をはじめ、関係団体とも連携して利用促進や経営に対する支援などを通して路線の維持、活性化を図ってきたい。



土佐くろしお鉄道中村・宿毛線



石井 孝 (県民の会)

バランスのとれた医療体制の構築

問 診療科の充足、医師の地域偏在の解消といった観点から、医療体制を構築することが求められていると思うがどうか。

答 知事 医学生に、卒業後高知で医療に従事してもらえよう取り組んできた。平成29年度からは新たな専門医制度が開始されるので、専門医資格の取得に際し、特定の地

域、医療機関に医師が集中しないよう医師確保に取り組みたい。

今後、医師の育成環境の整備や医師を確保する仕組み作りを取り組み、医師の専門性の確保とともに、地域で必要な医療を受けることができる医療提供体制の構築を進めていく。

幡多広域の観光振興

問 幡多広域観光振興計画の、現段階での取組状況と見えてきた課題について聞く。

答 観光振興部長 幡多広域観光協議会では、6年後の数値目標である県外観光客の7万人以上の増、観光総消費額19億円以上を目指し、振興計画に基づき、全国に通用する観光地作りを取り組んでおり、マーケティングや観光客のニーズ・満足度などのデータの収集・分析がさらに必要になるといった課題も見えてきた。

協議会からは、振興計画のPDCAサイクルを徹底すると聞いており、数値目標の達成と質の高い観光地作りに向けて引き続き支援していきたい。



明神 健夫 (自由民主党)

吉村虎太郎の像をこ うち旅広場に！

問 土佐勤王党四天王の一人、吉村虎太郎の像をこうち旅広場に新設し、四天王像として、全国的にPRしてはどうか。

答 知事 こうち旅広場には、新たな像を建てるだけの十分なスペースがなく、また、三志士像も一定観光客に定着している。

今後、歴史を中心とした博覧会のプロモーション計画を練り上げ、全国に向けて展開していく中で、吉村虎太郎には、幕末の志士の中でも主役級として存在感を発揮してもらえようようにその生家も含めてPR等に努めていきたい。



吉村虎太郎像(津野町)

奥四万十博にあわせた 旅行商品の企画・開発

問 「高知家エクストリームトラベル社」による着地型旅行商品の企画・開発と高幡5市町の魅力を全国に情報発信することについて聞く。

答 観光振興部長 奥四万十博にあわせて造成された体験プログラムは、清流四万十川、四国カルストという大自然や食を満喫できる、「すつびんデトックスの旅」が数多くあり、奥四万十博推進協議会と連携しながら、エクストリームトラベル社で四季を通じて企画し、催行につなげ、盛り上げていきたい。

また、来年度は、奥四万十博を情報発信における重点テーマとして位置付け、首都圏等のメディアをはじめ、様々な媒体での幅広い露出に取り組み、誘客につなげていきたい。

「高知家エクストリームトラベル社」 地元の人しか知らない高知の魅力を発見する旅の提供を目的とした高知家のインターネット上の企画。



土森 正典 (自由民主党)

「保育の父」佐竹音次郎の 顕彰

問 佐竹音次郎の功績、精神を次代に引き継ぐべく、土佐の偉人として顕彰していく必要があるのではないか。

答 知事 佐竹音次郎の聖愛主義の精神に基づき、児童福祉の活動は今後の取組の参考になるし、「誰をも分け隔てなく愛育すべき」を理想とする精神についても、将来にわたって広く伝えていく価値があると考えている。

このため、より多くの方々に知ってもらうことは大変有意義だと考えているので、四万十市と協議を進めながら、これまでに縁を持たれた地域の方々とともに積極的に取り組んでいきたい。

「聖愛主義」 引き取った孤児、遺児たちを我が子と分け隔てなく育てるべきとする主義。

命の大切さを教え、 学ぶ道徳教育

問 いじめ、不登校、暴力が大きな社会問題となっている今、命の大切さを教え、学ぶ道徳教育が何よりも必要だ。

答 教育長 各学校では道徳の時間などにおいて、生命尊重に関わる授業が実践されているが、その際には、実感や感動を持って理解する、納得する、心に刻むということが重要となる。そのため、各学校では、感動的な資料などを選択して授業の充実を図っている。

命を大切にすることは、より深く心に刻まれるべきものであり、こうした道徳教育がしっかりと行われるよう積極的に指導助言をしていく。

12月定例会 主な審議の結果

●可決された議案(62議案) ※同意・承認または認定を含む

知事提出議案(57議案)

予算議案(1議案)

・平成27年度高知県一般会計補正予算

条例議案(17議案)

・高知県行政不服審査会条例議案 ほか 16議案

決算議案(22議案)

・平成26年度高知県一般会計歳入歳出決算 ほか 21議案

その他議案(17議案)

・高知県が当事者である訴えの提起に関する議案
・高知県が当事者である和解に関する議案 ほか 15議案

議員提出議案(5議案)

意見書議案(5議案)

・ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書議案
・介護福祉士養成施策の充実・強化を求める意見書議案
・森林吸収源対策の財源確保を求める意見書議案
・地方の道路整備や老朽化対策の財源確保に関する意見書議案
・環太平洋経済連携(TPP)協定交渉の大筋合意後の対応に対する意見書議案

●否決された議案(3議案)

議員提出議案(3議案)

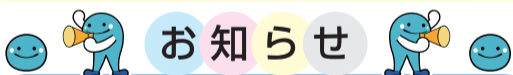
意見書議案(3議案)

・環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉の合意内容についての情報公開と徹底的な検証及び議論を求める意見書議案
・教育予算の削減を行わず充実を求める意見書議案
・消費税増税を前提とした、2016年度税制改定大綱に反対する意見書議案

●不採択とされた請願(5件)

・すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるための請願について(請第1-1号及び請第1-2号)
・教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める私学助成の請願について(請第2-1号及び請第2-2号)
・伊方原発再稼働容認の知事発言を再考し、国、愛媛県、四国電力に対し、伊方原発再稼働を行わないことを求める高知県としての行動の請願について(請第3号)

※議案に対する各議員の賛否の状況は、高知県議会ホームページでご覧いただけます。



お知らせ

2月定例会開催予定

2月23日(火) 開会	【中継】
3月1日(火) 質疑並びに一般質問	【中継】
2日(水) "	【中継】
3日(木) "	【中継】
4日(金) "	【中継】
7日(月) 予算委員会	【中継】
8日(火) "	【中継】
9日(水) 常任委員会	
10日(木) "	
11日(金) "	
14日(月) "	
15日(火) "	
16日(水) "	
18日(金) 閉会	【中継】

※予定ですので、変更になる場合があります。傍聴の際には、議会事務局議事課(TEL088-823-9534)で必ず日程をご確認ください。
※定例会、委員会の開催予定は高知県議会ホームページにも掲載しています。

フィリピン・ベンゲット州を記念訪問

高知県とベンゲット州との間で結ばれた姉妹都市提携が平成27年に40周年を迎えることを記念し、11月21日から26日まで、三石文隆高知県議会議長を団長とする、県議会議員や高知県・ベンゲット州姉妹交流推進会議の方々など総勢29名がベンゲット州を訪問し、政府との記念式典や日本人戦没者慰霊碑訪問の他、桜をシンボルとした姉妹交流公園を造ることを目的に山桜の苗木の贈呈などを行い、さらなる友好の絆を深めました。



30周年記念時にベンゲット州庁舎前に建立された記念碑(はりまや橋のミニチュア)の前で記念撮影

議会中継

県議会では本会議と予算委員会の審議の様子をインターネットとケーブルテレビで生中継しています。議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

インターネット

- 生中継及び録画中継しています。
- 高知県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。
[ホームページアドレス]
<http://gikai.pref.kochi.lg.jp/>
- ※インターネット中継をご覧になるためには、Windows Media Player(Ver9以上)が必要です。

ケーブルテレビ

- 生中継を下記ケーブルテレビ局で放送しています。
- 高知ケーブルテレビ … 718ch(3月1日を除く), 714ch(3月1日のみ)
- 西南地域ネットワーク … 111ch
- よさこいケーブルネット … 851ch
- 香南ケーブルテレビ … 112ch
- 四万十町ケーブルネットワーク … 111ch
- むろと光サービス … 111ch
- 黒潮町ケーブルテレビ … 11ch,111ch

12月定例会 常任委員会 委員長報告 要旨

総務委員会

■高知県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例議案について

執行部から、マイナンバー制度導入に伴う、庁内での特定個人情報の利用、及び県の他機関への特定個人情報の提供を可能とするため、必要な事項を定めようとするものであると説明があった。

委員から、10月から始まったマイナンバーの通知が、いまだに完了していない現状があり、マイナンバー制度の導入に不安を感じている県民が多くいる中で、条例の整備を進めてよいのかと質疑があった。

執行部からは、今回の条例は、マイナンバー制度の導入後も、従来から行っていた庁内等での情報提供を引き続き行えるようにしようとするもので必要なものである。また、マイナンバー制度に不安を感じている県民のため、市町村等関係機関と連携し、引き続き、不安の緩和に取り組んでいくと答弁があった。

■政府関係機関の地方移転について

執行部から、政府関係機関誘致の提案募集に対する県の提案内容・今後のスケジュール等について報告があった。

委員から、政府関係機関の地方移転については、機能の全部移転については財政面等で難しく、一部移転では集積のメリットが少なくなることなど、各省庁等からの抵抗があり、厳しい状況であるが、どう考えているのかと質問があった。

執行部からは、国のハードルは極めて高い状況であり、今後は、南国市にコア研究所がある海洋研究開発機構に絞って検討していきたい。また、政治主導で行わないと進まないで、大臣をはじめ高いレベルの方々を中心に訴えていく必要があると答弁があった。



マイナンバーカード(見本)

危機管理文化厚生委員会

■高知県看護師等養成奨学金貸付け条例の一部を改正する条例議案について

執行部から、看護師等の県内就業率の向上や看護師等が中央保健医療圏に集中する地域偏在を解消するために、看護師等を目指す者に奨学金を貸し付ける条例の一部改正するものであると説明があった。

委員から、この改正で、新たに県外の医療機関に就業した者に利子を付すということであるが、学生の修学のための奨学金に利子を付すべきではないと考えるがどうかと質疑があった。

執行部からは、県外の医療機関での就業を選択する奨学金貸与者に利子を付すことで、県内定着への動機づけにしたいと考えている。利子の水準は、他の奨学金制度との均衡を図っていると答弁があった。

■産業人材育成事業費について

執行部から、産業人材育成のメニューを体系化した土佐まるごとビジネスアカデミーのバージョンアップとして、インターネットを活用した学びの場の拡大や、講師が地域に出向く実践的なセミナーの開催などに要する経費であると説明があった。

委員から、土佐まるごとビジネスアカデミーのこれまでの具体的な成功事例として、どういったものがあるかと質疑があった。

執行部からは、具体的には、起業や個人事業者の法人化につながったものがあるほか、受講者が開発した商品が地場産業大賞を受賞したり、国内大手航空会社の機内食に採用されたりしている。また、受講生同士が連携したコラボ商品が防災関連認定製品に選ばれるなどの事例があると答弁があった。

別の委員から、土佐まるごとビジネスアカデミーを受講することによって、受講者がどういった成果を得られるか、しっかり意識して支援に取り組んでほしいと意見があった。



土佐まるごとビジネスアカデミーの講義

商工農林水産委員会

■高知県が当事者である和解に関する議案について(ルネサス関連)

執行部から、ルネサス高知工場の集約の決定に伴い、高知工場の承継企業の確保への取り組みと第2棟用地の県への無償譲渡等を確認し、県とルネサス社が、今後、高知工場の従業員の雇用継続に向けて協力していくことを合意するものであると説明があった。

委員から、三菱電機株式会社高知工場第2棟の整備を信じるに至るコミットメントがあったとの解釈の根拠は何かと質疑があった。

執行部からは、高知工場が順調に稼働する中で、第2棟整備の話があったことや第2棟用社員寮用地の取得に加え、事務レベルでは工業用水の必要量や水質等の詳細な合意形成がなされたことなどから、十分なコミットメントがあったと考えていると答弁があった。

さらに、委員から、仮にルネサス社と和解せず、信義則違反を迫及した場合、どういった状況が想定されるのかと質疑があった。

執行部からは、信義則違反を迫及しても合意内容以上のものを得ることは難しい。また、裁判の長期化に伴い、従業員の雇用の維持に向けた対応の遅れが懸念される。ルネサス高知工場及び協力企業の約360



ルネサス高知工場

人の従業員の雇用を守るため、高知工場の承継企業を確保し、第2棟用地を新たな工業団地として活用を図るには、ルネサス社との協力関係が不可欠であると答弁があった。

最後に、本議案については、全会一致をもって可決したが、和解議案の確認事項が確実に実現されるよう、県は、ルネサス社をはじめ、香南市などとも連携し、高知工場の承継企業の確保と第2棟用地への企業立地の早期実現に全力で取り組み、ルネサス高知工場及び協力企業の従業員の雇用の継続・維持を図ること。また、ルネサス社には、同様に高知工場集約以後も必要に応じて、責任感を持って対応することを商工農林水産委員会として強く求めた。

産業振興土木委員会

■博覧会実施計画策定委託料について

執行部から、大政奉還150年に当たる平成29年と明治維新150年に当たる平成30年の2年間にわたって開催する歴史を中心とした博覧会の実施計画策定に係る助言や提案の業務を民間業者に委託するものであると説明があった。

委員から、博覧会に向け体制強化が必要ではないかと質疑があった。

執行部から、市町村や地域の観光協会等と連携して進め、県も体制強化に取り組んでいきたいと答弁があった。

別の委員から、南国市才谷に龍馬の先祖がいた場所があるが、道が狭く、観光客が訪問しづらい。龍馬への流れも大切であり、そういう面にも取り組んでもらいたいと意見があった。

執行部から、地域の掘り起こしが重要であり、市町村とも連携し磨き上げや売込みを行い、と答弁があった。

別の委員から、物語性を作ることが面白さにつながる。そういった面白さを実現できるように取り組んでもらいたいと意見があった。

■客船受入等業務委託料について

執行部から、クルーズ客船の寄港にあわせ市街地でのおもてなしを強化するため、臨時観光案内所や通訳の配置、イベントの企画・実施を委託するものであると説明があった。

委員から、買物環境の整備状況について質疑があった。

執行部から、免税手続の一括代行カウンターの新設を免税店が検討しており、商店街では、語学研修や指しシートの使用等に取り組んでいると答弁があった。

別の委員から、クルーズ客船の波及効果を最大にするには県内各地への日帰りツアーの造成が大事で、リピーターを増やすことにつながる。どのような状況かと質疑があった。

執行部から、寄港が決まるとエージェンツと観光コンベンション協会などでツアー作りを協議している。ツアーに参加しない方はシャトルバスで市街地に行ってもらおうこととし、案内所での高知の情報提供や飲食店の多言語化にも取り組んでいると答弁があった。



高知新港に寄港したクルーズ客船

常任委員会の動き(11月~12月)

■総務委員会

12月18日、21日、22日(12月定例会中)

付託された13件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。

請願2件、意見書案5件を審査。

■危機管理文化厚生委員会

12月18日、22日(12月定例会中)

付託された14件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決または承認。

請願2件、意見書案4件を審査。

■商工農林水産委員会

11月11日

県内太陽光発電施設の現地調査。

12月3日、9日

ルネサス高知工場の集約について。

12月18日、22日(12月定例会中)

付託された5件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。

請願1件、意見書案2件を審査。

■産業振興土木委員会

12月18日、22日(12月定例会中)

付託された3件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。意見書案1件を審査。

SNSをはじめました!

県議会では情報発信の新たな手段として県議会公式TwitterおよびFacebookをはじめました。ぜひご覧ください。

Twitter

https://twitter.com/kochi_kengikai

Facebook

<https://www.facebook.com/kochi.kengikai>